県PTA広報 とっとり
平成25年11月28日
69号

みんなでつながろう!! と がんばろう鳥P!

皆さんの学校、先生も保護者も元気ですか?

鳥取県PTA協議会
会長　井上　洋子

子どもたちにとって身近な大人は学校と家庭にいます。子どもたちは、元気で力をあわせている先生や私たち保護者をお手本に生活しています。このベースが安定しているとき、子どもたちの心は安定し、安心して力を伸ばしていくのでは、といつも思っています。

会長に就任して、7月に初めて日本PTA協議会という、47都道府県と政令指定都市あわせた61協議会の会長が集まる会に出席しました。PTAについてはいろいろな意見を耳にする今日ですが、全国にはものすごい数のPTAが活動しているのだ、PTAという組織はなんて大きいのだろうと、驚きました。

また、日本の中でも、地域により、子どもたちを取り巻く環境や問題は多少異なりますが、全国には、鳥取県と同じく、アイデアをだしあい、子どもたちを思いながら活動している仲間がたくさんいることをあらためて意識することができました。鳥取県PTA協議会は、みなさんのPTAです。郡市小中PTA連合会代表の会長で構成されています。各学校がどんな活動をしているのかをお知らせしたり、お互いの活動をヒントにして新しいものを思いついたり、おもしろそうだからうちの学校にもとりいれてみよう・・・そんな、刺激しあえる活動を応援しています。

県内のPTA仲間がつながって、大きな大きなパワーを「応援」にかえて、子どもたちに伝えていきましょう。

私は、鳥取県PTA協議会を**鳥P＝とりぴー**と呼んでみなさんに親しんでもらいたいと思っています。

今後とも、鳥Pの活動にご理解、ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

トリピーと井上鳥P会長
「うっかり者の私ですが、皆さんに支えられてがんばります!」

『県Pってなあに?』

「県Pってなあに?」という題で原稿の依頼を受け、県Pの紹介をさせていただくことになりました。私自身、役員として関らせていただいていますが、改めて聞かれると「何だろう?」と考えてみました。

増田　裕子

県Pとは「鳥取県PTA協議会」の略称で、県下197校の公立小中学校のPTAが参加している任意の団体です。県Pでは3つの専門委員会と、今年度から設置されたいじめ対策特別委員会が中心となって事業を進めています。ここで県Pの各委員会の活動を紹介します。

【総務委員会】
総会の運営、県教育委員会等への要望活動、家庭教育力の向上に関する調査・研究等の事業を行います。

【研修委員会】
研究大会や県教育委員会との教育懇談会を開催し、各単位PTA同士の情報交換や、会員の資質向上のための研修会等の事業を行います。

【広報委員会】
年2回発行の広報紙の作成、広報紙コンクールの開催、優秀広報紙集の発行等の事業を行います。

【いじめ対策特別委員会】
いじめに対する取り組みの情報収集と発信、各単位PTAのいじめを許さない環境づくりの支援のほか、各委員会の事業と連携した取組みを行います。

その他、東中西の3ブロックに別れて各単位PTAの役員さんを対象に指導者研修会を開催し、活動の充実と会員の資質向上を図っています。

私も役員をさせていただくまで、全くと言っていい程無縁のものだと思っていました。子どもの学校のことはある程度わかっているつもりでしたが、県Pに関わってみると、自分の学校だけで活動するよりも市P(郡P)、県Pと関わりをもち、県下の他のPTAと交流を深めながら、協力や刺激をしあって活動する方が自分の学校の活動もさらに充実したものとなることがわかりました。

これからも県Pは子ども達の健やかな成長のために活動を続けて行きますので、会員のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

H25 県 P 役員のみなさん。1 年間お世話になります。
(第 3 回理事会)

CONTENTS

このロゴマークは八橋小 PTA の中本優紀さんのデザインによるものです

【P1】
・県P会長あいさつ
・県Pってなあに？委員会紹介
【P2】
・(特集)土曜日授業が復活する!?
・県P教育懇談会報告
・(コラム)
いじめ対策特別委員会の活動
【P3】
・日P全国研究大会報告
・H25日韓PTA交流事業報告
・県P指導者研修会報告
・H24子どもの生活リズム
向上促進事業
【P4】
・H24調査研究事業(PTA会費)
・広報紙コンクール表彰
・行事のお知らせ
・編集後記

編集・発行
鳥取県PTA協議会

事務局
〒680-0846　鳥取市扇町21
県民ふれあい会館内
TEL：0857-21-2285
FAX: 0857-21-0906
E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp
http://www.tottori-pta.net/

土曜日授業が復活?!

教育懇談会で県教委と意見交換

保護者の皆さんが子どもの頃は当たり前だった土曜日の授業が復活するかも・・・。2002年4月から完全実施された学校週5日制ですが、児童・生徒の学力向上に向け、東京都などすでに土曜日授業に取り組む自治体が出てきています。文科省が6700校に20億円の支援を予算要求するなど、導入が進められようとしている土曜日授業とは一体どんなものなのか、なぜ今、土曜日授業の復活が進められようとしているのか、8月3日に倉吉体育文化会館で開催された教育懇談会（主催：鳥取県ＰＴＡ協議会）での県教委との意見交換を中心に、今後の方向性に注目していきたいと思います。

倉本　政寛

全体懇談会ではグループに分かれて土曜日授業についてワークショップを行い、活発な意見交換が行われた。

◎土曜日授業とは

以前の土曜日授業は、いわゆる「半ドン」と呼ばれる午前中だけの授業を行うものでしたが、今導入されようとしている土曜日授業は、月曜日などに振替えを行わないで土曜日に授業や学校行事を実施するものです。東京都墨田区では、公開授業、運動会、音楽会、ＰＴＡや地域行事と関連した取り組み、ゲストティーチャーによる授業など、各学校が工夫し特色ある活動が行われています。

◎子ども達の土曜日の過ごし方

完全実施から10年以上が経過し、子ども達や先生、保護者にもすっかり定着している学校週5日制ですが、子ども達はどのように土曜日を過ごしているのでしょうか。教育懇談会の意見交換では、部活・スポ少や習い事、読書やテレビ・ＤＶＤ鑑賞などの趣味の時間、友達と遊ぶ、家族で出かける、家の手伝いや農作業、地域のイベントに参加などが多かったようですが、一方でゲームやマンガでダラダラと過ごしていることが多いとの意見もありました。

◎なぜ土曜日授業が復活？

学校週5日制は、学校、家庭、地域が連携し、役割分担をしながら社会全体で子どもを育てるという理念で導入されたものですが、ねらいどおりに有意義な土曜日を過ごせていない子どもたちが少なからずいるという指摘があります（文部科学省「土曜日授業に関する検討チーム」中間まとめ）。学習指導要領の改訂に伴い、地方自治体の判断でこれまで以上に充実した学習機会を提供する方策の一つとして、土曜日授業が行いやすくなるような制度の検討が進められています。

◎土曜日授業への期待と不安、メリットとデメリット

土曜日授業の再開には、平日にぎりぎりまで詰め込まれたカリキュラムを消化する忙しさを解消して、子どもたちに生きていくための多様な体験をする時間を確保しようというねらいがあります。一方で、学習時間を増やして、いっそうの学力向上を図ろうというねらいも当然ながら含まれています。教育懇談会の意見交換では以下のような意見が出されました。

【期待やメリット】

- 学力向上に向けた時間の確保
- 平日に余裕が生まれる（子どもも教員も）
- 地域とのつながりが生まれる
- 生活のリズムが崩れない
- 保護者の負担が減る
- 学校に行ってくれたほうが安心
- 授業以外のイベントがやりやすくなる

【不安やデメリット】

- 子どもの体力低下
- 親子の時間が減る
- 市町村や学校で対応が異なると保護者が混乱する
- 日曜日の部活で休みがなくなる
- 地域イベントの参加が難しくなる
- 逆に子どもや先生負担が増えるのでは

おわりに

土曜日授業の再開は、これまでにすっかり定着した制度を大きく変えるものです。学校を取り巻く関係者が、それぞれの立場から解決しなければいけない課題も多いと考えられます。例えば、教職員の勤務体制、地域や保護者の協力、スポ少など社会体育や大会との日程調整などが挙げられます。しかし、もともと学校、家庭、地域が連携し、役割分担をしながら社会全体で子どもを育てるという理念で導入された学校週5日制の検証と総括を行った上で議論を深めていく必要があります。学力テストの点数や進学率などの目先の効果にとらわれることなく、真に生き抜く力を身につけ、その力を社会に還元できる子ども達を育てる、「子ども達のために」なる改革としていくため、ＰＴＡとしてこの問題に積極的に関わっていく必要があるのではないでしょうか。

教育懇談会開催される

いじめ、学力向上などについて県教委と意見交換

平成25年度鳥取県ＰＴＡ協議会「教育懇談会・情報交換会」が、８月３日（土）倉吉体育文化会館で開催されました。

はじめに、参加者が（Ａ）ケータイ・インターネット・マスメディアについて、（Ｂ）食育について、（Ｃ）いじめについて、（Ｄ）学力向上についての４つのグループに分かれて小グループ討議を行い、各グループとも活発な意見交換が行われました。

全体懇談会では、鳥取県ＰＴＡ協議会井上会長の挨拶、鳥取県教育委員会横濱教育長の挨拶の後、鳥取県教育委員会から土曜日授業について文部科学省の中間まとめ（概要）と他県での取り組みが説明されました。次に土曜日授業について、グループ毎にワークショップを行い、子どもたちの土曜日の過ごし方、土曜日授業のメリットや使い方、不安や疑問、今後の課題など熱心に意見を出し合いました。　（青山哲尚）

全体会の冒頭にあいさつをされる横濱教育長

『つながろう親と子・親と親』

いじめコラム

～いじめに対する取り組み～

当協議会では平成23年8月30日に「いじめに対する緊急アピール」を提唱し、各単位PTAによる「いじめに対する取り組み」のお願いをしてきました。そして今年度は特別委員会を設置し、いじめに対する取り組みの更なる展開を試みています。いじめは起こってから介入するのは、非常に難しく予防が大切であるといわれています。予防するためには早い時期にいじめの兆候を察知することも重要ですが、保護者として私たちができるのは「子どもが保護者に愛され、見守られていると思える」環境を作っていくことではないでしょうか？保護者・先生方・地域の皆さん・行政が手を取り合って、「いじめ」をしない・させない環境を作っていきましょう！

（いじめ対策特別委員会　委員長　山代　豊）

小グループ討議の概要

Ａ グループ　ケータイ・インターネット・マスメディア

教員のメディア教育の指導能力、ipodなどケータイ（スマホ）以外の機器の取扱い、研修や人権感覚の向上、親としてどう向き合うかなど

Ｂ グループ　食育

アレルギー対応の現状（除去食・エピペン等）、食べ残し（飽食）の現状と解決へ向けての取り組み例など

Ｃ グループ　いじめ

4月に開設された「いじめ・不登校総合対策センター」の取組み、いじめに対する対応のポイント、今後のＰＴＡの取り組みなど

Ｄ グループ　学力向上

学習塾に対しての見解、家庭学習のありかた、土曜日授業など

4つのテーマについて小グループに分かれて討議

8月23日～24日 第61回

日本PTA全国研究大会 みえ大会

みえに集えばきっと見える …三重からの わ

～はじまりの地で語り育もう子どもたちの未来～

和 輪 話

全体会の基調講演で迫力ある演奏を披露するヴァイオリニストの川井郁子さん

昭和28年、三重県からはじまった日本PTA全国研究大会。60年ぶりにはじまりの地に再びもどってきました。公益社団法人となり、新たな一歩を踏みだした日本PTA節目の全国大会とあって、全国から約8000人の会員が集いました。

大会スローガンである「三重からのわ」

①『輪』…家庭・学校・地域が連携して手を取り合うPTA活動

②『話』…子どもたちの夢について語り合うPTA活動

③『和』…未来ある子どもたちの和の大切さを伝えるPTA活動

1日目は、三重県内の11会場にわかれての分科会、2日目は、三重県県営サンアリーナを会場に全体会が開催されました。このうち第1分科会と全体会に参加しましたので概要を報告します。

（荒瀧美由紀）

第1分科会

組織運営活発な組織作りに取り組もう

～うちの子もとなりの子もしっかりと見守り育てる環境を作ろう～

午前の部では、小惑星探査機『はやぶさ』NECプロジェクトディレクターの荻野慎二氏による基調講演がありました。

はやぶさは、6回も危機的状況を乗り越えて帰還。とても運がよかったけれど、これまでの失敗から学んだことを活かし、運を拾えたからだと語っておられました。

特に印象に残ったのは、『やったことのないことをして、失敗するのは当たり前。失敗は数えない。できたことだけを数え加点する』と言われたこと。また、組織の活性化や子育てにも通じるものがあると思いました。

その他多ジャンルの専門家が同じ部屋にいて、疑問や問題の解決が迅速にできたことなど、組織運営に重要だなと思われることをたくさん聞くことができました。

午後の部では、学校の再編に関するパネルディスカッションがありました。以前10校あった小学校は、少子化の流れで徐々に統廃合され、現在1校、生徒数92人。学校統廃合に関わったPTA役員さん、当時の校長先生や先生、教育委員の方々のご苦労や思いをお聞きしました。統合までの期限が迫る中、何度も会合を開き、話し合いを重ね、たいへんだったことなど熱く語っておられました。

パネラーの方々のお話を聞きながら、『子どもたちのために』ということがキーワードになっていると感じました。子どもたちのために何がベストなのかを、しっかり考えていくことが大事なんだと改めて考えさせられました。統合した最初の年のPTA総会は、100%の出席率だったそうです。統合してみて感じることは、「子どもは順応する」「親同士が歩みよる、なかよくなることが大事」と言われたPTA会長さんの言葉が心に残りました。

全大会

全体会では、ヴァイオリニストの川井郁子さんによる記念講演がありました。川井さんの講演では、ご自身の子ども時代のことや、ご自分の子育てに対する想い、現在の活動（国連UNHCR協会国連難民親善アーティスト）について語られました。また、講演の中で披露される川井さんの迫力あるヴァイオリンの演奏にもしばし酔いしれました。

平成25年度日韓PTA交流事業報告

10月8日(火)～11日(金)、9名で韓国を訪問しました。出発当日、台風の接近で天候が心配されましたが、韓国ではよい天気に恵まれました。

初日は公峴津(コンヒョンジン)初等学校を訪問しました。ここでは体のバランスや感覚を養う「動き教育」に力を入れておられ、それを見学しました。午前の休み時間(20分間)体育館に全校生徒が集まり、一輪車に乗りながら皿回しをする、バランスボードの上で皿回しをするなどと2つのことを同時に行っているのを見て、その器用さに驚きました。

2日目は鏡浦(キョンポ)幼稚園と江陵(カンヌン)女子高等学校を訪問しました。

鏡浦幼稚園は、校庭をはさんで小学校と併設されている幼稚園でした。ここの幼稚園では、子どもたちの感性を育てるために、一人一人にカメラを持たせて、撮った写真で展示会を開いたりしているそうです。見せていただいた写真はプロかと思うほどのもので、とても感心しました。

公峴津初等学校1年生の教室を視察している様子

江陵女子高等学校には、放課後から自主的に勉強するための教室があって、3年生には一人一人の机が備えられていました。勉強するための環境が日本と異なる点がいくつもあり、受験の厳しさを感じさせられました。

韓国の関係者との協議の時間ももたれ、「規則正しい生活習慣や規範意識の育成のために保護者ができること」「PTA活動に参画意識の低い保護者をどう取り込んでいくか」の2点について、短時間ではありましたが、意見交換しました。

韓日訪問の準備等お世話くださった方々、訪問させていただいた学校関係者の皆さま、通訳の方々、随行してくださった韓日関係者の皆さま、カムサハムニダ！ありがとうございました。

（荒瀧美由紀）

生活リズムを整えて学習活動のサポートを

～PTAによる子どもの生活リズム向上促進事業～

夜遅くまでテレビやゲームで朝起きてこない、朝ごはんも食べずに学校に・・・なんてことはありませんか？子ども達は塾や部活、スポ少で忙しいし、保護者も先生もみんな忙しい。生活リズムを見直すことが良いのはわかっていてもなかなか難しいものです。そんな悩みを保護者と学校が共有し、家庭での生活リズムを向上させていく取り組みが県教育委員会と各単位PTAが協力して進められています。今年度は24年度から継続の4校に加え、10校で食育、ノーメディア、あいさつなどいろいろなテーマに取り組まれています。これまで実施されたすばらしい取り組みの数々は、県PTA協議会ホームページの「鳥取県のPTA」で紹介していますので、ぜひとも参考にしていただき取り組みの輪を広げていきたいものです。

【H24-H25】
北条小学校、西伯小学校、
岩美中学校、岸本中学校
【H25-H26】
隼小学校、福生東小学校、
東伯小学校、北条中学校、
南部中学校、日野中学校

倉吉市立河北小学校PTAのあいさつ運動の様子。西谷PTA会長も「委託事業で作成した横断幕はいろんなイベントでも大活躍しています」とニコニコ顔

PTA指導者研修会開催される

東中西3地区でテーマ別分科会

PTA活動の活性化などを目的として県PTA指導者研修会が東部、中部、西部の3ブロックで開催されました。県PTA協議会が主催する指導者研修会は今回で3回目となり、各ブロックごとに工夫をこらした研修内容が企画されました。中部会場では木下法広鳥取市教育長がいじめ問題を大人の視点から考え、自ら実践された経験をもとに講演をされ、多くの参加者が真剣な表情で聞き入っていました。参加者アンケートを参考に来年度の開催内容を検討してきたいと考えています。

○東部地区　6月15日
国府町中央公民館
参加者106名
- 第1分科会
「広報紙の作成手法」
- 第2分科会
「ケータイ・インターネット」教育の啓発手法
- 第3分科会
「とっとり子育て親育ちプログラム」

○中部地区　6月29日
倉吉体育文化会館
参加者88名
- 第1分科会
「変化の時代　子どもの姿・大人の姿～いじめ等解決に向けて～」
- 第2分科会
「実例に学ぶトラブル対応」
- 第3分科会
「とっとり子育て親育ちプログラムでPTA活性化」

○西部地区　6月30日
米子コンベンションセンター
参加者120名
- 活動推進分散会
- 広報紙分散会

中部会場第2分科会「実例に学ぶトラブル対応」と題して西谷氏（河北小PTA会長）と浅雄氏（県P協事務局長）の対談と意見交換が行われた。参加者アンケートでは「PTA役員の心構えなどとても参考になった。持ち帰って単Pでも研修してみたい。」など有意義な研修となった。

おめでとう若葉台小

日本PTA会長賞受賞

カリヨンのひびき

平成２４年度全国小・中学校広報紙コンクールで若葉台小学校愛育会広報紙「カリヨンのひびき」が日本PTA全国協議会会長賞を受賞されました！

2013優秀広報紙集を発行

平成24年度鳥取県ＰＴＡ広報紙コンクール入賞の優秀広報紙21点を掲載した優秀広報紙集を発行しました。各単Ｐに配布していますので、ぜひ手に取って素晴らしい受賞作品の数々をご覧ください。

平成２４年度鳥取県ＰＴＡ広報紙コンクール受賞校一覧

【小学校の部】

表彰区分	学　校　名	広報紙名
教育長賞	米子市 伯仙小学校	はくせん
金　賞	鳥取市 若葉台小学校	カリヨンのひびき
	八頭郡 船岡小学校	なんだかんだプレス
	米子市 車尾小学校	くずも
銀　賞	東伯郡 北条小学校	茶臼山プレス
	倉吉市 関金小学校	こだま
	鳥取市 醇風小学校	醇jun-pu風
	倉吉市 西郷小学校	さいごう
銅　賞	西伯郡 岸本小学校	わかあゆ
	倉吉市 高城小学校	たかしろ
努力賞	東伯郡 成美小学校	なるみ
	米子市 義方小学校	ぎほう
	西伯郡 大山小学校	カラス天狗

【中学校の部】

表彰区分	学　校　名	広報紙名
教育長賞	東伯郡 北条中学校	北条中ＰＴＡ会報
金　賞	倉吉市 鴨川中学校	かもがわ
銀　賞	倉吉市 西中学校	北野大地
	東伯郡 東郷中学校	P.T.A会報
銅　賞	倉吉市 久米中学校	久米ほっと通信
	東伯郡 三朝中学校	かじか
努力賞	東伯郡 東伯中学校	東伯中PTAだより
	米子市 福米中学校	福米の空

知ってる？ 見直してみよう PTA会計

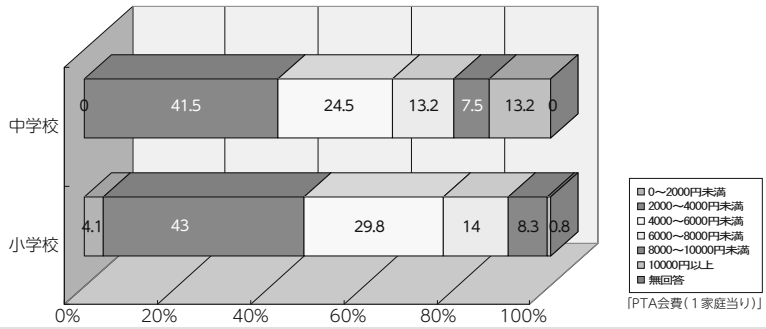
一家庭あたりの会費に５倍の開き

平成24年度県Ｐ協調査研究事業 ～ＰＴＡ会計等に関する調査結果より～

毎年開催されるＰＴＡ総会で提案されるＰＴＡ会計の予算決算、中身はよくわからないけど意見を言うのも恥ずかしいしとりあえず拍手で承認、なんてことありませんか？学校の設備など実は公費で負担すべき経費にＰＴＡ会計から支出されているなんてことがあるのかも。児童生徒数の減少で会費収入が減って運営が厳しいという単位ＰＴＡもあれば、資源回収や補助金を上手に活用して収入を確保しているところもあるようです。県Ｐ協では平成24年度調査研究事業でＰＴＡ会計等に関する調査を行ない、結果を公表していますので参考にしていただき、皆さんの単位ＰＴＡ会計の見直しや使い方のルールづくりに取り組んでみてはいかがでしょうか。

一家庭あたりのＰＴＡ会費（年間）

選択項目	総計		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
0～2000円未満	5	2.9%	5	4.1%	0	0.0%
2000～4000円未満	74	42.5%	52	43.0%	22	41.5%
4000～6000円未満	49	28.2%	36	29.8%	13	24.5%
6000～8000円未満	24	13.8%	17	14.0%	7	13.2%
8000～10000円未満	14	8.0%	10	8.3%	4	7.6%
10000円以上	8	4.6%	1	0.8%	7	13.2%
合計	174	100.0%	121	100.0%	53	100.0%



編集を終えて

だんだん寒くなって、なべやおでんがおいしい季節になりましたね。そういえばなんとなく県Ｐの広報紙が変わった気がするかも？気付いたあなたはえらい！そうなんです、実は今回から大きくリニューアルしたんです。多くの方に手に取って読んでもらえるように、少し大きく、しかもカラー刷りになりました。外見だけでなく中身も充実していきたいと思いますので、どんどんご意見ご要望をお寄せください。（M.K）

おしらせ　平成25年度鳥取県PTA研究大会

「子どもたちの未来へ夢を紡ぎ心を育てる単位PTA活動の実践と絆で結ぶPTA」

～きっと見つかる子どもたちへのメッセージ～

今年度は、県ＰＴＡ協議会の重点活動目標である「子どもと向き合う」「親同士がつながる」ＰＴＡ活動を推進するため、先進的な事例を参考に、単位ＰＴＡの取り組みにつなげていくことなどをねらいとして開催します。多数のご参加をお待ちしています。

★日時：平成25年12月14日（土）12:30から
★場所：境港市夢みなとタワー
★内容（予定）
◎パネルディスカッション
（仮題）「“子どもと向き合う”“親同士がつながる”ための単位ＰＴＡの活動から学ぶこと」
◎県委託事業報告
（PTAによるこどもの生活リズム向上促進事業）

鳥取県ＰＴＡ協議会の小・中学生総合保障制度　（こども総合保険）

☆2014年度より新制度へ移行いたします！！☆

ＰＴＡ協議会新保障制度の主な特長

- 個人賠償責任補償を主に充実しプランを増やしました（５プラン）
- 口座振替でお振込手続の手間もなく、翌年も自動継続されます（解約も可能です）
- ワイドな補償制度＋セカンドオピニオンアレンジサービス＋メンタルケアカウンセリングサービス＋ハロー健康相談24（２４時間医療・健康相談サービス）付帯!!
- PTAが窓口の団体加入制度ですので、個人で加入されるよりも同じ条件で、今までと同様に約２０％割安になります（加入者数3,000名以上の場合）

【引受保険会社】　AIU損害保険（株）　〒690-0006　松江市伊勢宮町519-1　大同生命ビル３Ｆ　ＴＥＬ0852-26-2781
※当制度の詳細に関しましては、来年春に配布されるパンフレットをご覧ください。